

第4回 小児免疫性神経筋疾患研究会 プログラム



重症筋無力症（MG）やGuillain-Barré 症候群（GBS）、慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー（CIDP）を主な対象とする研究会です。第4回は、重症筋無力症との鑑別が大切となる先天性筋無力症の診断についてご講演頂くとともに、有効例への対応をテーマに意見交換を行います。是非、多くの先生にご参集いただきますよう、宜しくお願い致します。

日時 2019年 5月 31日(金) 18:30 - 20:30

会場 第6会場（名古屋国際会議場1号館4F レセプションホール（東））
〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1番1号
（第61回日本小児神経学会学術集会 会場内）



テーマ

「MG/CIDPの治療奏功例に学ぶ / 先天性筋無力症の基礎と臨床」

● 症例検討（18:30～19:40）

第一部 座長：東京女子医科大学医学部 小児科 石垣 景子 先生
横浜市立大学附属市民総合医療センター 小児総合医療センター 武下 草生子 先生

症例①「少量アザチオプリンが有効であった全身型重症筋無力症の1例」
横浜市立大学附属市民総合医療センター 小児総合医療センター 武下 草生子 先生

症例②「1歳で発症し4回再発した眼筋型MG8歳女児の経過と現在の治療」
杏林大学病院 小児科 小松 祐美子 先生

症例③「小児期発症重症筋無力症難治例の治療方針～タクロリムスのその次は？～」
東京女子医科大学医学部 小児科 石垣 景子 先生

第二部 座長：長野県立こども病院 神経小児科 稲葉 雄二 先生
国立精神・神経医療研究センター病院 小児神経科 石山 昭彦 先生

症例④「免疫グロブリン維持療法により症状の進行が抑えられているCIDPの1例」
安城更生病院 小児科・新生児科 深沢 達也 先生

症例⑤「異なる年齢で治療開始したラブシン異常症の経過」
長野県立こども病院 神経小児科 稲葉 雄二 先生



● 特別講演（19:40～20:30）

座長：千葉大学大学院医学研究院 小児病態学 藤井 克則 先生

講師：名古屋大学大学院医学系研究科 神経遺伝情報学

教授 **大野 欽司 先生**

「先天性筋無力症候群について～重症筋無力症との鑑別～」



※お弁当を用意しております。

世話人：藤井克則（代表）、稲葉雄二、石垣景子、熊田聡子、武下草生子、石山昭彦

連絡先：kfujii@faculty.chiba-u.jp

千葉大学大学院医学研究院 小児病態学 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1 電話 043-226-2144



共催：小児免疫性神経筋疾患研究会 / 第61回日本小児神経学会学術集会 / 一般社団法人 日本血液製剤機構